

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

2 各市町村独自の重要要望事項

(1) 国道441号の整備促進について

- ①口屋内バイパスの整備を促進すること。
- ②中半バイパスを早期に事業化すること。

〔四万十市区長会〕

(道路課)

(答)

- 1 口屋内バイパスは、トンネルへの早期着手を目指し、昨年度から、西土佐側の現道拡幅部の用地買収に着手しており、引き続き、買収完了に向けて努力いたします。
- 2 来年度は、中村側の道路詳細設計・用地測量、用地買収を行うとともに、西土佐側の工事に着手する予定です。
- 3 トンネル工事の着工に向けて、残土処理場の確保についても、ご尽力をいただいておりますが、用地取得と併せて、引き続き、より一層のご協力をお願いします。
- 4 一方、中半バイパスについては、口屋内バイパスの完成の目途が立った段階で事業化する予定です。

2 各市町村独自の重要要望事項

(2) 下田港の整備促進及び河口砂州の早期復元について

- ①下田港航路埋塞被害の復旧及び波浪被害に対する抜本的対策を早期に行うこと。
- ②下田港改修事業の早期完成を図ること。
- ③河口砂州の早期復元に向け維持・保全対策を行うこと。

〔四万十市区長会〕

(港湾・海岸課)

(答)

- 1 現在の航路は、四万十川を横断しており台風による波浪や洪水で土砂が流れ込み、頻繁に航路が埋塞することから、航路の機能を確保するための維持浚渫を実施しております。今後も、引き続き迅速に浚渫工事を実施し、適切な維持管理に努めてまいります。
- 2 下田港の改修事業は、昭和55年に着手し、現在、防波堤1015mのうち、975mが完成しており、平成28年度は、引き続き防波堤の整備を実施するとともに、航路護岸の整備に着手します。今後も防波堤や航路護岸等の整備に必要な予算の確保に努めるとともに、地元関係者や国などと十分に協議しながら、早期完成に向けて取り組んでまいります。



3 河口砂州につきましては、平成23年に自然再生力を生かした復元工事に着手し、平成25年には、砂州の土台となる河床の復旧工事が完了しました。その後、復旧した河床上に堆積した土砂が上下流に移動し安定しないため、昨年度から国・県・市及び海岸、環境の学識者による検討チームを立ち上げ、砂州の復元に向けた対策の検討を進めています。今後も引き続き、下田港改修事業の早期完成と河口砂州の復元に取り組んでまいります。

平成 28 年 9 月 2 日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

- 2 各市町村独自の重要要望事項
(4) 四万十川の水質保全について

[四万十市区長会]
(環境共生課)

(答)

- 1 四万十川の水質保全については、平成 17 年に「四万十川愛媛・高知連携協議会」を設置し、愛媛・高知両県において主に農業対策に重点を置き、止水板の配布や浅水代かきの実施など様々な取組みを行っています。
- 2 しかしながら、通年で降雨時に濁水が顕著であり、「農業濁水対策」だけでは十分な効果が上がっているとは言い難い現状です。
- 3 そこで、昨年引き続き、本年 5 月に開催された「愛媛・高知交流会議」の場で議題として取り上げ、愛媛県知事に濁水対策に係る全体像の把握のための調査協力を呼びかけました。
- 4 今後も、「四万十川愛媛・高知連携協議会」の場などで協議しながら、濁水対策について継続的に取組みを進めていきます。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

2 各市町村独自の重要要望事項

(6) 主要地方道宿毛宗呂下川口線、一般県道宗呂中村線の整備促進
について

〔土佐清水市連合区長会〕

(道路課)

(答)

1 県道宿毛宗呂下川口線は、地域の幹線道路及び生活道路として重要であると認識しています。

そのため、坂井～出合工区の約2.9kmにおいて、平成21年度から1.5車線の整備を行っており、坂井地区では約1kmの整備が完了しました。

今年度は、引き続き坂井地区で工事を進めつつ、次期工事箇所
の用地買収に着手する予定です。

2 県道宗呂中村線は、生活道路としての重要性を認識しています。

そのため、昨年度に有永地区で防災工事と併せた路肩の拡幅工
事を実施しており、今年度も有永地区の別の箇所で防災工事を
実施する予定です。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

3 各市町村独自の要望事項

(1) 四万十川の河床浚渫について

〔四万十市区長会〕

(河川課)

(答)

- 1 四万十川の河川整備は、洪水を安全に流下させるための掘削などの対策を行うと共に、あわせて生物多様性や自然環境の保全にも配慮していくことになっております。
- 2 ^{やまじ}山路地区の土砂堆積への対応については、流下能力の向上およびスジアオノリなどの生育環境保全を目指して、平成26、27年度に河床掘削を実施しました。今後は引き続き河床の変化やスジアオノリの生育状況及び水温・塩分の変化などについて調査を行い、河床掘削方針を検討して対策を進めると、事業を実施する国より聞いております。
- 3 県としましては、洪水被害に対する住民の皆様の不安を払拭できるよう、ご要望の内容について、国にしっかり伝えてまいります。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

3 各市町村独自の要望事項

(2) 具同・楠島地区浸水対策の整備促進について

- ①相ノ沢川・楠島川の河川整備事業に早期着手を図ること
- ②既存施設の維持・保全対策を行うこと

〔四万十市区長会〕

(河川課)

(答)

- 1 具同・楠島地区の浸水対策については、国・県・市が連携して、今後取り組む整備内容について検討を進めており、県では国と協力して、楠島川から中筋川への放水路新設等の河川整備を計画しており、今後、概ね5ヶ年での事業効果の発現を目指してまいります。
- 2 また、河川の浚渫等の維持管理は、現状の土砂の堆積状況等を把握し、支障がある箇所については土砂の掘削などを実施し、洪水を安全に流せるよう適正に対応していきます。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

3 各市町村独自の要望事項

(3) 国道321号小筑紫バイパスについて

〔宿毛市地区長連合会〕

(道路課)

(答)

- 1 宿毛市小筑紫地区は、平成24年度の通学路の緊急合同点検の結果、見通しが悪く対策が必要とされたことを受けて、路面の減速マーク設置など、対策を行っています。
- 2 しかしながら、この区間の抜本的な交通安全対策としては、通過交通を分離するバイパス整備が有効であることは認識しており、今後、弘見工区の進捗を見据えて検討いたします。
- 3 交通安全対策としては、まず、現在事業中の弘見工区の整備を進め、早期完成を目指して取り組んでまいります。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

3 各市町村独自の要望事項

(4) 企業誘致について

[宿毛市地区長連合会]

(企業立地課)

(答)

- 1 県では、平成27年3月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、安定した雇用の創出により、若者の県外流出の防止や県外からの移住者の増加につなげて人口構造を転換し、将来に渡って活力ある持続可能な社会の実現に取り組んでおります。
- 2 県外からの企業誘致や既立地企業の増設は、雇用創出に大きな効果がありますことから、県産業振興計画に位置づけ、全国トップクラスの補助制度や、人材確保支援など極め細かなアフターフォローにより、製造業や事務系職場を中心とした企業立地に全力で取り組んでおります。
- 3 西南中核工業団地は、県内最大の面積を有し産業集積が進む工業団地であり、県といたしましても、団地内の立地企業を中心に、宿毛市と連携したアフターフォローを通して、工場等の増設や産業集積を活かした関連業種の誘致を図っており、近年でも事務用椅子の製造工場や精密加工工場の増設が実現しております。
- 4 今後とも、宿毛市とさらに密な連携を図りながら、西南中核工業団地への企業誘致を推進し、地域の雇用創出や活力の維持発展につなげてまいります。

平成28年9月2日

幡多三市一町一村区長会連絡協議会

3 各市町村独自の重要要望事項

(5) 国道321号(大月町馬路峠～町道泊浦分岐間)の改良整備の早期完成と大月町役場前まで区間延伸も含めた改良整備について

[大月町地区長自治会]

(道路課)

(答)

- 1 工事を進めていくにあたり、歩道の連続性を保つため、既に整備が完了している宿毛市側から一定の区間設定を行いながら、順次、事業を展開しています。
- 2 今年度は、約250mの工事を行うとともに、その先の用地買収を行う予定としています。用地の確保が計画通りに進められるよう、今後とも地元調整にご協力をお願いいたします。
- 3 区間の延伸については、幅員は満足していないものの、片側に歩道が設置されていることから、今後の利用状況を踏まえて検討していきたいと考えています。